

令和6年度 第1回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和6年6月20日（木）10時～
場所：加西市役所 5階大会議室

開 会

1 ご挨拶

2 委員の紹介

3 議 事

- (1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方 …【資料1】
- (2) 実施計画（令和5年度実績）における評価・検証について …【資料2】
- (3) 内部評価の概要 …【資料3】

4 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和6年度 第2回加西市総合政策審議会
日時：令和6年7月25日（木）14:00～
場所：加西市役所 5階大会議室

令和6年度 第1回加西市総合政策審議会 出席者名簿

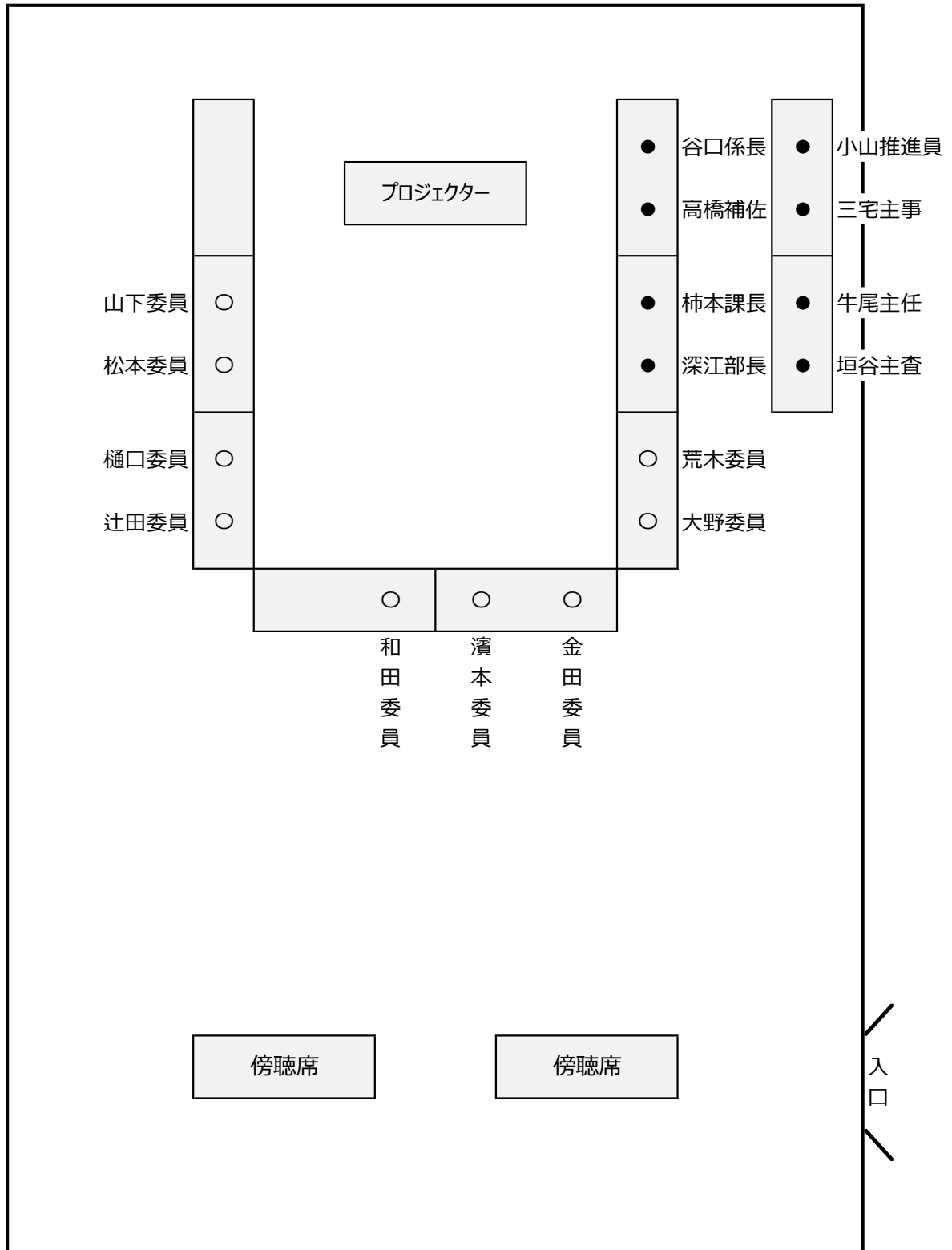
氏 名	団 体 名	役 職	備 考
荒木 努	加西空き家対策専門家協議会（え〜がい加西）	代表	
大野 聖佳	NPO法人ねひめカレッジ（加西市国際交流協会）	ジェネラルリーダー	
岡田 美香	女性農業者	代表	欠席
小川 進	加西市連合PTA	副会長	（新）欠席
金田 敏秀	北条金融協会	会長	
大門 篤志	泉よつばこども園PTA	会長	（新）欠席
谷勝 公代	加西市くらしと生活を守る会	会長	欠席
辻田 聡信	北条conne実行委員会	代表	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	欠席
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
樋口 真史	加西市労働者福祉協議会	幹事	
松本 壽泰	加西市区長会	富合地区代表区長	
山下 光昭	加西市シニアクラブ連合会	会長	
和田 真理子	兵庫県立大学 国際商経学部	准教授	

（計14名 敬称略 五十音順）

■事務局

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
深江 克尚	政策部長
柿本 尚一	政策部政策課長
高橋 知弘	政策部政策課 課長補佐
谷口 成俊	政策部政策課 係長
垣谷 直宏	政策部政策課 主査
牛尾 充宏	政策部政策課 主任
三宅 里彩	政策部政策課 主事
小山 映	政策部政策課 まちづくり推進員

令和6年度 第1回加西市総合政策審議会 配席図
(加西市役所 5階 大会議室)



加西市総合政策審議会の概要

1 趣旨

加西市総合計画や加西市地域創生戦略等、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する重要な事項について、調査及び審議することにより、市民の意見を反映し、効果的な市政運営を図るため、「加西市総合政策審議会」を設置します。

2 体制と役割

- (1) **審議会の役割** 市長の求めに応じ、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する次の事項について、調査及び審議します。
- ① 総合計画の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
 - ② 地域創生戦略の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
 - ③ その他市長が必要と認める事項
- (2) **審議会の体制**
- | | |
|---|---|
| ○審議会
委員構成：地域の産学官金労士老若女などの有識者
事務局：政策部政策課 | ・部会：必要に応じて設置・検討

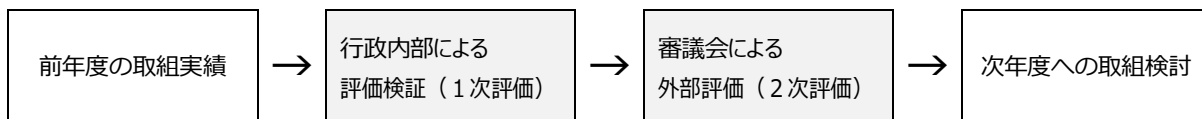
・関係者：必要な説明・意見を聴取 |
|---|---|
- (3) **会長及び副会長** 会長は、委員の互選によって定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。
- (4) **委員の任期** 2年 ※委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。
- (5) **その他** その他運営に関し必要な事項は、「加西市総合政策審議会運営要綱」による。

3 令和6年度 総合政策審議会のスケジュール（予定）

●第1回 加西市総合政策審議会（全体会） 日時：令和6年6月20日（木）10:00～ 場所：加西市役所 5階大会議室	・概要説明、スケジュール・進め方の確認 ・実施計画（令和5年度実績）における内部評価（1次評価）の概要報告
●第2回 加西市総合政策審議会（部会） 日時：令和6年7月25日（木）14:00～ 場所：加西市役所 5階大会議室	・実施計画（令和5年度実績）の評価・検証①
●第3回 加西市総合政策審議会（部会） 日時：令和6年8月28日（水）14:00～ 場所：加西市役所 5階大会議室	・実施計画（令和5年度実績）の評価・検証②
●第4回 加西市総合政策審議会（全体会） 日時：令和6年9月30日（月）14:00～ 場所：加西市役所 5階大会議室	・各部会からの評価・検証結果の報告 ・加西市行財政改革プランの確認
●第5回 加西市総合政策審議会（全体会） 日時：令和7年2月頃 場所：未定	・次期総合計画の基本計画（後期計画）及び地域創生戦略の検討

実施計画（令和 5 年度実績）における評価・検証について

加西市総合計画の着実な推進にあたり、事業の実施状況について、行政内部による評価検証（1 次評価）を行い、その内容について審議会による外部評価（2 次評価）を行うことによって、透明性を確保する。



1 部会の設置

外部評価（2 次評価）は、1 部会 4～5 名体制で 3 つの部会を編成し、38 施策を分担して評価検証を行う。また、部会には部会長を置き、部会の進行管理を行うものとする。

部会数	1 部会あたりの対象政策	1 部会あたりのメンバー		
		担当委員 ※審議会委員	説明員 ※市職員	事務局 ※市職員
3	4～5	4～5 名（うち部会長 1 名）	2～3 名	2～3 名

2 外部評価（2 次評価）の進め方

(1) 第 2・3 回 加西市総合政策審議会

各部会に分かれ、市民の視点から各施策について「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1 次評価）の総合評価（4 段階評価）と同様の基準で評価する。所属部会以外への意見は提言書により行うことが可能。

総合評価基準		基準の説明
A	目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている（目安 106%～）
B	目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている（目安 95%～105%）
C	目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない（目安 80%～94%）
D	目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない（目安～79%）

(2) 第 4 回 加西市総合政策審議会

- ① 事前に事務局が取りまとめた部会での意見をもとに各部会長から総括を行う。
- ② 全体会で検討を行う。
- ③ 加西市行財政改革プランを確認し、意見を集約する。

3 外部評価（2 次評価）後の対応

- 事務局から各部へフィードバックの上、次年度の取組について改善検討を行う。
- 行財政改革プラン（総合計画 実施計画）へ外部評価（2 次評価）の結果を掲載し、市ホームページ等で公表する。

※ 令和 6 年度は、第 5 回目総合政策審議会において、令和 8 年度からの次期総合計画の基本計画（後期計画）及び地域創生戦略の検討を行う。

參考資料

行政内部による評価検証（１次評価）の概要
（令和５年度 取組実績）

総合計画の前期基本計画に掲げられた 13 政策の取り組みは全部で 38 施策（113 事業・206 指標）ありますが、未実施や数値が未確定である事業等を除いた検証可能な指標の進捗や到達度等を基に評価・検証しました。

各施策の評価・検証については、令和５年度単年度の指標達成率のほか事業内容・規模等にも配慮しながら事業毎の到達度を「A（目標を上回って達成、106%以上）」、「B（ほぼ目標を達成、95%～105%）」、「C（目標を下回っている、80%～94%）」、「D（目標を大きく下回っている、79%以下）」の４段階で評価のうえ、施策全体の総合評価を、同様の４段階区分で評価しました。

全体として一番多いのはBで 24 施策、次いで C の 10 施策となっております。概ねB評価が多くなっています。

政 策	A	B	C	D
1 新しい家族と出会い、 育むための支援の充実		1	2	
2 子どもの教育の充実		3		
3 生涯にわたって学び、 楽しめる環境づくり		1	2	
4 くらしを支える 福祉・医療の充実		2	1	
5 農業の再生と活性化		3		
6 商工業の振興と新展開		3		
7 地域資源の活用と 人の流れの創出		1	2	
8 安全・安心に暮らせる 環境の充実		3		
9 快適な都市空間の創出		1	1	
10 安全性と利便性が確保された 都市基盤の整備	2		1	
11 協創のまちづくりの推進	1	2		
12 お互いを認め、 尊重し合える社会の実現		3		
13 効率的で持続可能な 行財政の推進	1	1	1	
合 計	4	24	10	0

※今後、精査の結果、数値が異動する場合があります。

令和5年度の主な取組概要（基本方針単位での内部評価まとめ）

基本方針1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ（政策1～4）

- ・ 子育て応援施策として、「子育て5つの無料化」の給食費無料化において、新たに、市外小・中学校に通う児童・生徒の世帯を対象者に加え拡充実施しました。また、泉学童保育園の新園舎が7月に完成し、学童保育の受入体制を拡充しました（定員30名から70名に増）。
- ・ 学校再編におけるアンケート調査及び保護者説明会を実施し、12月に小学校の統廃合を加えた小中学校の再編方針を発表しました。
- ・ 増加傾向にある不登校生の支援対策として、北条中学校及び加西中学校においてフリースクールを立ち上げました。
- ・ 加西病院の医師確保及び地域医療の充実を目的に、医学生向けの奨学金制度を創設しました。
- ・ 高齢者福祉の推進の取り組みとして、高齢者補聴器購入費助成を新設実施しました（55名申請受付）。

基本方針2 活力とにぎわいのあるまちを育む（政策5～7）

- ・ 加西インター産業団地整備（第1期事業）における進出企業であるリスパック(株)新工場の建築工事が完了し、令和6年度の稼働に向け、従業員105人のうち40人を地元から採用されました。
- ・ デジタル技術を活用して鶺野フィールドミュージアム歴史遺跡のデジタル保存・コンテンツ化、2Dメタバースを構築するとともに、来場者の安全性の確保のために、鶺野飛行場跡地に現存する戦争遺跡について、構造物の健全性評価を行いました。
- ・ 空がたなぐまち・ひとづくり推進協議会の各市町が有する、農業資源と加工のマッチングで商品開発を目指す「農産物を通じた連携事業」において資源調査を行いました。

基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる（政策8～10）

- ・ 防災情報を中心に、市の情報、地域の情報を伝達する情報伝達システム「かさいライフナビ」を整備し、防災ネットとも連携するシステムを構築しました。
- ・ 脱炭素先行地域づくり事業として、民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを目指し、先行地域内の既存住宅に対する脱炭素化補助を実施し、産業部門においても事業者の脱炭素化設備導入に対し補助を実施しました。
- ・ 地域主体型交通では、宇仁、日吉に続き、市内3地区目となる富田において「とみバス」の運行を開始しました。
- ・ 市道の新設、通学路の整備、道路の修繕・改良工事を行うとともに、橋梁の点検・補修、河川の浚渫を行いました。

基本方針4 ともに活躍しまちの魅力を高める（政策11～13）

- ・ SDGsの推進を図るため、「SDGsパートナー登録制度」により28事業者の登録を行い、SDGsポータルサイトを通じてSDGsの取り組み等の情報発信を開始しました。また、9月に「SDGsフェス」を開催し約200名の方が参加されました。
- ・ 女性役員登用を進める取組みとして、自治会役員女性登用助成を新設実施しました（11件の申請受付）。
- ・ 加西市地域活性化拠点施設「sora かさい」では、指定管理者による自主事業としてマルシェ(6回)、講演会(3回)、ナイトミュージアム等のイベントが開催され、また、sora かさいと法華口駅間でのピースツーリズムを実施し、鶺野でグリーンスローモビリティを導入するために、車両購入及び車庫を設置しました。
- ・ ふるさと納税の受入れについては、令和5年10月の地場産品基準の厳格化により、一部の返礼品で設定寄附額を変更しました。返礼品のラインナップの増、ポータルサイトの画像の改善、ライブコマース等を実施等により、結果として、寄附金受入額が約60億円となりました。

加西市総合政策審議会条例

(設置)

第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、加西市総合政策審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の求めに応じ、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する次の事項について、調査及び審議する。

- (1) 総合計画の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
- (2) 地域創生戦略の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
- (3) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 各種団体を代表する者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(任期等)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないものとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、必要に応じて市長が招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決する

ところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画担当部において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

○加西市総合政策審議会規則

令和 2 年加西市規則第 19 号

加西市総合政策審議会規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、加西市総合政策審議会条例（令和 2 年加西市条例第 2 号）第 8 条の規定に基づき、加西市総合政策審議会（以下「審議会」という。）の会議その他運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(部会の設置)

第 2 条 審議会に、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会に属する委員は、審議会の委員をもって充てる。

(部会長)

第 3 条 部会に部会長を置き、委員の互選によって定める。

2 部会長は、部会を総括する。部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

3 部会長は、部会の所掌事項に関する審議の結果を審議会に報告しなければならない。

(意見の聴取)

第 4 条 審議会は、関係者の意見を聴取する必要があると認めるときは、当該関係者の出席を求めることができる。

(補則)

第 5 条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、審議会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

○加西市総合政策審議会運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、加西市総合政策審議会規則（令和2年加西市規則第19号）第5条の規定に基づき、加西市総合政策審議会（以下「審議会」という。）の会議の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(議事の表決)

第2条 議事等に関して表決が必要な場合は、挙手により行う。

(会議の公開)

第3条 会議は、原則として公開するものとする。ただし、会長が公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認めたときは、非公開とすることができる。

(傍聴の手続)

第4条 会議の傍聴を希望する者は、傍聴希望者受付名簿に必要事項を記入しなければならない。

(傍聴人の遵守事項)

第5条 傍聴人の守るべき事項については、加西市議会規則（平成元年議会規則第2号）の例に準拠するものとする。

(会議録の作成について)

第6条 会議録は、要点筆記とする。

(会議録等の公開について)

第7条 会議録は、市のホームページで公開する。ただし、委員の氏名など発言委員（会長及び副会長を除く。）を特定できる内容は、非公開とする。

2 会議録と併せて、会議資料を公開する。

3 委員名簿は、市のホームページで公開する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和2年7月2日から施行する。

令和6年度 総合政策審議会 部会分け

政策	施策	関連する団体
政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実	①結婚・妊娠・出産支援の充実 ②地域ぐるみの子育て支援の推進 ③子育て環境の充実	●公立こども園 P T A
政策 2 子どもの教育の充実	④教育の質の向上 ⑤教育環境の充実 ⑥地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実	●加西市連合 P T A
政策 3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり	⑦生涯学習の充実 ⑧芸術・スポーツの振興 ⑨健康増進の推進	●加西市スポーツ推進委員会
政策 4 くらしを支える福祉・医療の充実	⑩高齢者福祉の推進 ⑪障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫保健・医療体制の確保	●加西市シニアクラブ連合会
政策 5 農業の再生と活性化	⑬農業従事者の確保と育成 ⑭農業経営の支援 ⑮農業環境の充実	●農業者
政策 6 商工業の振興と新展開	⑯商工業の振興 ⑰創業支援と働く場の拡大 ⑱雇用・勤労者福祉の充実	●加西商工会議所 ●北条金融協会 ●加西市労働者福祉協議会
政策 7 地域資源の活用と人の流れの創出	⑲歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑳移住・定住の支援 ㉑空き家・空き店舗の利活用	●加西空き家対策専門家協議会
政策 8 安全・安心に暮らせる環境の充実	㉒防災・感染症対策の充実 ㉓防犯・交通安全の向上 ㉔市民相談・消費者保護の充実	●加西市区長会
政策 9 快適な都市空間の創出	㉕住環境の整備 ㉖地球に優しい環境都市の創造	●加西市くらしと生活を守る会
政策 10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備	㉗道路・河川の整備・維持管理 ㉘上下水道の整備・維持管理 ㉙公共交通の充実	●加西市区長会
政策 11 協創のまちづくりの推進	㉚協創のまちづくり ㉛シティプロモーションの推進 ㉜広報・広聴の充実	●北条 conne 実行委員会
政策 12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現	㉝自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ㉞男女共同参画の推進 ㉟多文化共生と平和のまちの実現	●NPO 法人ねひめカレッジ
政策 13 効率的で持続可能な行財政の推進	㊱行財政運営の効率化 ㊲ICT の利活用の推進 ㊳広域連携と公民連携の推進	●加西商工会議所 ●北条金融協会



部会 1	部会 2	部会 3
●公立こども園 PTA ●加西市連合 PTA ●加西市シニアクラブ連合会 ●加西市スポーツ推進委員会 ●NPO 法人ねひめカレッジ	●農業者 ●加西商工会議所 ●北条金融協会 ●加西市労働者福祉協議会 ●加西空き家対策専門家協議会	●加西市区長会 ●北条 conne 実行委員会 ●加西市くらしと生活を守る会 ●（学識経験者）

担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実 ② 地域ぐるみの子育て支援の推進 ③ 子育て環境の充実

1 政策の目標を確認してください。ここに記載された目標を達成するために、各施策が実行されています。

未来の加西の姿

家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
① (ア～エ)	2 「未来の加西の姿」を達成するために必要となる施策（①,②,③・・・）が複数あり、施策目標達成のために必要となる個別事業（ア,イ,ウ・・・）が複数あります。 ここでは、複数の個別事業からなる施策に対する評価を実施していただきます。	■産後ケアの充実 - 産後ケアについては、担当保健師が利用を勧める方法だけではなく、もっと幅広い人にPR、利用してもらうことで助かる人がいるのではないかと考える。 - 外国人の産後ケア利用については、相談体制の整備のほか、企業との連携もより一層必要だと考える。 総合評価 C…目標をやや下回って達成
② (ア～エ)	■子育て世帯の経済的負担の軽減 令和5年1月から3～5歳児の主食完全無償化を開始したことで、先給食費無償化となった。3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化も開始した。 ■子育て応援プロモーション 「子育て応援5つの無料化」を切り口としたWeb広告を展開し、加西市の認知拡大・魅力発信ができた。 総合評価 C…目標をやや下回って達成	■子育て応援プロモーション - 子育て支援については、制度は良く整ってきているので、口コミも含めて関係する人への宣伝をもっと強化すべきである。 - 学童保育については、3年生まではほぼ受入れ可能とのことであるが、それより上の学年（高学年）における受入れニーズにどう対応していくかが課題である。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
③ (ア～ウ)	3 政策に対するKPIとして、前期目標（R7）が設定されています。 KPIの達成度については、令和7年度目標に対する令和5年度実績により算出しています。	保育受入れ体制の整備 保育園の受入れにおいて、育休復帰前には慣らし保育期間を設けてもらいたい。方が子どもが新たな環境に適応しやすく、親自身もスムーズな職場復帰ができではないかと考える。 児病後児保育は受入れ人数が5名ほどであり、まだまだキャパシティが少ない。共働きがあたり前の中で、このような施設は更に拡充してもらいたい。 総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
合計特殊出生率	目標		—	—	—	—	1.83	人	単年
	実績	1.28	0.91	1.11	1.12				
	達成度		50%	61%	61%				

※15～49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの

	目標	
	実績	
	達成度	

【評価のポイント】

- 政策評価では、施策評価シートの該当ページと照らし合わせ、複数の取組を総合的に評価します。
- 判断が難しい場合は、政策目標（未来の加西の姿）達成にとってより重要であると考えられる施策の評価を重視してください。

※サンプルにつき、令和5年度の内容とは異なります。

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援									
政策	1 新しい家族と									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 多世代が関わる地域ぐるみの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。									
担当部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課						
		政策部		政策課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	子育てハンドブックの作成		350	【評価のポイント】 ・ 取組実績、KPI達成度など総合的に判断していただき、施策目標の達成につながっているかを評価してください。 ・ 行政内部の自己評価と部会での評価が一致する必要はありません。						
	給食費補助金		43,892							
	学童保育運営事業		101,187							
	合計		145,429							
R4	子育てハンドブックの作成		218	子育ての負担を軽減するため、子育て支援センターの開設や、子育て支援員の配置など、子育て支援体制の強化を図りました。						
	給食費補助金		52,959							
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)		36,960							
	学童保育運営事業		100,554							
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化		59,831							
	保育士や学童支援員の処遇改善事業		2,868							
合計		253,390	自己評価	B…ほぼ目標を達成						
R5	子育てハンドブックの作成		2,365	加西市子育て応援5つの無償化をPRするため、内容を全面改訂した「子育て応援ガイド2024版」5,000部を作成、市内に配布した。こども園での完全給食費無償化、3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化を引き続き実施した。泉学童保育園の新園舎が7月に完成、定員が30名から70名へと増加し学童保育の受入れ体制の充実を図った。						
	給食費補助金		62,721							
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)		69,059							
	学童保育運営事業		120,449							
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化		120,498							
	保育士や学童支援員の処遇改善事業		1,625							
合計		376,717	自己評価	B…ほぼ目標を達成						
R6	子育てハンドブックの作成		200	担当課による自己評価 A…目標を上回って達成 106%～ B…ほぼ目標を達成 95～105% C…目標を下回っている 80～94% D…目標を大きく下回っている 79%以下						
	給食費補助金		18,000							
	学童保育運営事業		1,616							
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化		12,758							
	保育士や学童支援員の処遇改善事業		4,530							
	合計		37,104							自己評価
R7	子育てハンドブックの作成		350							
	給食費補助金		18,000							
	学童保育運営事業		1,616							
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化		132,758							
	保育士や学童支援員の処遇改善事業		4,530							
	合計		387,254							自己評価
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市総合支援アプリの「子育て」カテゴリ登録者数		目標		1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	件	累計
		実績	942	2,313	1,018	1,162				
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-11	達成度	231.3%	92.5%	96.8%				
上記指標の設定理由		アプリを通じて子育て世帯へ必要な情報を発信し、育児不安等の解消を図るため。								
学童保育	第2期	450	人	半年						
3 施策目標を達成するための指標 (KPI) が定められており、実績や達成度を記載しています。										
ファミリーサポートセンター協力会員数		目標		65	65	65	65	65	人	累計
		実績	65	70	56	53				
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-17	達成度	107.7%	86.2%	81.5%				
上記指標の設定理由		協力会員数は、地域で子育てをサポートするといった意識の表れでもあるため。								

※サンプルにつき、令和5年度の内容とは異なります。

加西市地域創生戦略の状況

地域創生戦略は、国のまち・ひと・しごと創生戦略に基づき、市が定める計画であり、直面する人口減少と地域の活性化に向けた計画です。

加西市地域創生戦略では、以下の4つの基本目標を定め、総合計画のうち人口ビジョンに関する指標を KPI として設定し、地域創生に取り組んでいます。

【基本目標①】生産性の向上

成果指標	基準値 (H30)	数値目標 (R7)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
若者の残存定住率	78%	80%	80%	83%	83%
市内事業所従業員 市内定住率	38%	50%	43%	39%	46%
製造品出荷額	2,586 億円	3,900 億円	3,213 億円	2,480 億円	—

(参考指標)

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
若者の残存定住率 (日本人のみ)	65.5%	64.6%	66.3%	67.6%	67.6%
市内生産額(第2次 産業)	1,375 億円 (H29)	1,406 億円 (H30)	1,278 億円 (R 元)	1,214 億円 (R2)	1,435 億円 (R3)

▶若者の残存定住率＝16-18歳の10年後（26-28歳）の定住率

▶市内生産額＝市町民経済計算（市内総生産）より

【基本目標②】住みよさの創出

成果指標	基準値	数値目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度
観光入込客数	92.1 万人	110 万人	95.4 万人	120.5 万人	116.2 万人
移住斡旋数	83 件	200 件	241 件	251 件	261 件
マスメディアの登 場回数	464 回	530 回	456 回	573 回	570 回

(参考指標)

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
社会増減 (うち、日本人)	-96 人 (-259)	-263 人 (-288)	-283 人 (-103)	57 人 (-167)	144 人 (-44)

【基本目標③】 少子化の抑制

成果指標	基準値 (H30)	数値目標 (R7)	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
未婚率（女性 25～34 歳）	50.2% (H27 国勢調査)	46.6%	—	50.1% (R2 国調)	—
合計特殊出生率	1.28	1.83	0.91	1.11	1.12
幼保児童数	1,332 人	1,400 人	1,325 人	1,297 人	1,240 人

(参考指標)

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
20-39 歳女性の社会増減（うち日本人）	-124 人 (-123)	-72 人 (-95)	-180 人 (-78)	-59 人 (-112)	17 人 (-61)
20-39 歳女性の人口（うち日本人）	4,636 人 (3,618)	4,559 人 (3,516)	4,291 人 (3,426)	4,340 人 (3,299)	3,749 人 (3,242)
就学前児童数	2,091 人	1,934 人	1,832 人	1,748 人	1,661 人
幼保施設利用割合	62.4%	69.5%	72.3%	74.2%	74.7%

▶社会増減は年度中の社会増減、人口は年度末人口としている

【基本目標④】 暮らしの充実

成果指標	基準値	数値目標	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
要介護認定率	19.8%	21.2%	19.4%	19.2%	19.2%
防災訓練・研修回数	75 回	75 回	55 回	56 回	72 回
コミュニティバス系統数	9 系統	10 系統	10 系統	10 系統	10 系統

(参考指標)

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
コミュニティバス等利用者数	31,727 人	26,989 人	26,456 人	28,455 人	30,879 人

▶要介護認定率は、認定制度が周知されている前提では減少指標である

▶コミバス等＝コミバスと地域主体型交通の利用者数

デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生推進タイプ）事業報告

1 古民家再生お試し居住による地域交流活性化事業

(単位：千円)

事業名称	事業経費内訳	事業内容と支出額、委託先等
ソフト事業	移住相談事業	2,000 移住相談の実施、ワンストップ窓口の設置 対面・オンライン相談、起業支援、交流会の開催 委託先：（一社）ユニテ
	プロモーション費用	3,971 D-meets（ターゲティング広告）、PR TIMES、こくちーずによるWEB配信、チラシの作成配布 委託先：ランドブレイン（株）
	地域体験事業	
ハード事業	お試し居住施設整備事業	18,004 体験メニューの試験実施（ ）内は参加人数 「加西STEAMツアー」（5団体及び2名）、「加西市お試し体験ツアー」（8名）、「ローカルシティワーク」を知る」（11名） 委託先：ランドブレイン（株） お試し居住施設2施設を整備 （農村タイプ） 3,004千円 → やすらぎ（令和6年4月運営開始） （市街地タイプ） 15,000千円 → めたて（令和6年5月運営開始）
総 合 計		23,975

交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）

KPI	事業開始前	区分	R4	R5	R6			単位
① 転入者数の増加（20代～30代）	801	増加目標	20	30	50			人
		増減実績	386	-147				
② お試し居住利用者数	0	増加目標	0	2	12			人
		増減実績	0	0				
③ 移住相談人数	180	増加目標	30	50	70			人
		増減実績	71	10				

2 空がっなぐヒト・コト・モノ交流推進プロジェクト

広域連携事業：兵庫県加西市（代表市）、兵庫県姫路市、熊本県錦町、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市

(単位：千円)

事業名称	事業経費内訳	事業内容と支出額、委託先等
ヒトの交流	空がっなぐまち・ひとづくり普及啓発事業	368 空がっなぐまち・ひとづくり協議会負担金
コトの交流	鵜野飛行場回遊動向分析事業	5,687 鵜野飛行場跡地に関する来訪者の属性や回遊動向の可視化 効果的なプロモーションの検討、実施、効果検証
	ビッグデータ分析活用事業	14,900 ふるさと納税施策、子育て支援施策にかかるNPS調査の実施 施策の評価検証及び調査結果に基づくEBPM（エビデンスに基づく政策立案）の実施
	鵜野飛行場跡活用促進支援事業	1,449 鵜野飛行場跡及び周辺地域を活用した活性化イベントへの助成
	観光誘客促進事業	3,983 旅行エージェント向けプロモーション、ファミトリップの実施
	観光産業支援事業	11,300 観光協会関連事業（観光ガイド養成、ツアー造成支援、レンタサイクル事業） カサイチサイクルツーリズム、観光研究会、ハッピーバルーンクリスマス、劇場型周遊観光の実施
	マイクロツーリズム推進事業	7,170 おでかけナビ作成、総合HP構築、バスラッピング、新型モビリティ試験導入
	神大連携戦争遺産資料拡充調査事業	1,199 神戸大学との地域連携による鵜野飛行場跡や青野ヶ原俘虜収容所の調査研究 調査を通じた展示会や報告講演会等の開催
モノの交流	地域資源分析活用推進事業	9,966 5市町連携による農産物や加工品、生産者等の実態調査、加工品開発、JA、道の駅等での相互販売、 ふるさと納税の共通返礼品の開発等 地域が「稼ぐ」仕組みづくりの構築
総 合 計		56,022

交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）

KPI	事業開始前	区分	R5	R6	R7		単位
① 観光ガイドによる平和関連施設案内者数	13,120	増加目標	2,000	3,000	4,000		人
		増減実績	786				
② 児童生徒の相互平和学習・交流による参加校数	1	増加目標	1	1	1		校
		増減実績	0				
③ ふるさと納税のうち農畜水産物返礼品に対する寄付金額	0	増加目標	0	5,000	10,000		千円
		増減実績	0				